

ごあいさつ

京都は、平安建都以来千二百年の永きにわたり、都として栄えてきたことから、全国から選りすぐりの品々や人、情報が集まり、京料理や京菓子などの豊かな食文化が発達するとともに、それを支える京野菜や宇治茶などの優れた農林水産物が育まれてきました。

しかしながら、京都府の農林水産業や食産業を取り巻く社会情勢は、農林水産業従事者の減少や高齢化、国際情勢の不安定化による原材料や生産資材の価格高騰など、大きく変化しております。

また、地球温暖化に起因する気候変動は、農林水産物の品質に影響を及ぼすだけでなく、豪雨災害の頻発化など深刻さを増しており、被害を軽減する適応策が求められる中、京都議定書締結の地である京都から積極的に行動していくことが求められています。

一方で、ユネスコ無形文化遺産登録をきっかけとした世界的な和食ブームやインバウンド需要の回復、海外市場の拡大など、新しいビジネスチャンスも生まれています。

京都府では、上記を踏まえて、世界に誇る京の食文化、ブランドを生み出す生産技術、進化し続ける最先端技術を融合させた京都ならではのフードテックを開発し、農林水産業を含む食関連産業の振興を図ることを目的として、令和5年3月に「京都フードテック基本構想」を策定したところです。

同構想に基づいて、農林水産技術センターでは、

- 京都の農林水産業にマッチしたスマート技術の開発
- 「京の食」の新たな需要創造に向けた新品種の育成や生産技術の開発、食品加工研究の推進
- 気候変動やSDGsへの対応など京都府の農林水産業を支えるフィールド研究の強化
- 最先端技術を生産現場で活用できる人材の育成

に重点的に取り組むこととしており、和食文化など多様な分野を含めた大学や研究機関、企業等と研究ネットワークを構築し、共同研究を積極的に推進することとしております。

今後とも、農林水産業及び食品産業の新たなイノベーションにつながる技術を創発することで、京都府民の皆様に貢献できるよう努めて参りますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

京都府農林水産技術センター長